



広場でサッカー観戦

1 サッカーワールドカップ

東ティモールでもサッカーは大人気です。日本の健闘に同僚からは「ベスト16おめでとう」「アジア代表として頑張ってくれた」と声を掛けてもらいました。

私は家にテレビがないので近くの広場で日本戦を見に行きましたが、日本の善戦に大きな声援が送られていました。特にベルギー戦での日本の得点時に盛り上がり、最後の失点シーンではみんなで大きいため息がいたるところから聞こえてきました。

2 ご支援をいただいた竹細工の道具を使って

福島県青年海外協力隊を支援する会の皆さんから今後は竹細工の道具を受け取りました。

早速、竹細工と一緒に作っているアガペ聾学校とグループで活用してもらいました。これまでと違い、みんなで一緒に作業できるので効率的かつ効果的に作ることができるようになりました。竹細工の道具の提供にご協力いただいた皆様の多大なるご支援に改めて感謝申し上げます。



ご支援いただいた道具とアガペ聾学校で

(1) 竹割り

今月はまとまった竹細工の活動時間があり、竹を割るところから竹を編むところまで一緒に作業しました。まず竹割りでは鉋を使います。竹を薄く割っていく作業は鉋で手を切ったり怪我をしないように何度も注意し、作業してもらいました。



竹割りではできる人ができない人に指導する姿もありました



みんなで竹編みの様子



(2) 竹編み

編みは女性の方が得意な場合が多いですが、竹細工の場合は竹を割ったりする力作業もあるため、編みのも男性がやる場合が多いです。また日本では、竹の種類によっては細く短い篠竹や女竹と呼ばれている竹では女性が活躍しています。また、夫婦で役割分担し、竹割りを男性が、女性が編む場合もあります。私の技術もまだまだですが、よく”竹割り3年編み8年”と言われています。

3 可能性を感じるバンブー(竹)センターの製品の紹介

首都ディリから車で約20分のリキサ県ティバルというところにバンブーセンターがあります。ここでは竹で机や椅子、本棚などクオリティの高い製品が工場のような流れ作業で製作されています。工程は乾燥させた割り竹を横に並べて圧縮し、空気を抜き、糊で固め、角を磨き、組み立てられ、博物館などに導入されています。この製品であれば東ティモールブランドとして海外でも売れるように感じます。



バンブーセンターでは従業員の仕事に取り組む姿も真剣でした

4 宗教行事

今月はポルトガル人でカトリックを布教したSanto Antonio氏が亡くなった6月13日を弔う行事がありました。最終日は約1,000人ほどの大規模な行進があり、みんな口ウソクを片手に歌やお祈りの言葉を唱えながら行進していました。《第9号終わり》



「Arku」と呼ばれる装飾の準備



「Arku」の装飾は道路にも



夜に行進して目的の教会へ